

平成25(2013)年8月8日16時56分発表の
「緊急地震速報」に関する対応と評価
- アンケート調査からの考察 -

平成26(2014)年3月20日

日本大学文理学部社会学科

中 森 広 道

調査の概要

平成25（2013）年8月8日16時56分、気象庁は、関東から九州までの広い範囲を対象とする「緊急地震速報（警報）」を発表した。「緊急地震速報」の本運用が始まって以来、「警報」の対象となった地域が最も広がったが、予測された強い揺れは観測されなかった。この速報を受け取った人々を対象にWEBによるアンケート調査を行った。

- ・ 調査時期は平成25年8月30日から9月1日、有効回答者数は1000である。
- ・ 地域区分は関東、甲信越、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州の8地域とし、それぞれの地域の回答者数は125人である。
- ・ 性別は、男性が50.6%（506人）、女性が49.4%（494人）。
- ・ 年齢層は、20代19.7%（197人）、30代17.1%（171人）、40代14.8%（148人）、50代29.4%（294人）、60代19.0%（190人）である。

「緊急地震速報」を受け取った手段で最も多いのは「携帯電話」

「緊急地震速報」を受け取った手段（％）M.A. （全体の回答者数1000）

	全体	関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
テレビ	36.1	33.6	30.4	32.8	30.4	33.6	37.6	34.4	56.0	36.0	35.1	35.8	28.6	48.9
ラジオ	3.6	3.2	5.6	4.0	3.2	3.2	0.8	3.2	5.6	3.0	3.5	1.4	4.1	5.3
携帯電話（エリアメール、Cメールなど）	43.9	50.4	48.0	44.8	45.6	43.2	48.8	48.0	22.4	33.0	43.3	38.5	50.0	50.5
スマートフォン（エリアメール、Cメールなど）	25.6	28.8	23.2	33.6	22.4	28.0	25.6	24.0	19.2	40.6	28.1	31.8	21.1	10.0
スマートフォン（アプリ）	6.8	7.2	5.6	4.8	5.6	6.4	8.8	6.4	9.6	13.7	8.8	6.8	3.4	3.2
タブレット端末（エリアメール、Cメールなど）	1.0	1.6	0.8	0.0	0.8	0.8	1.6	1.6	0.8	1.5	0.6	1.4	0.7	1.1
タブレット端末（アプリ）	0.2	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0
パソコン	6.5	5.6	7.2	8.0	4.8	6.4	4.8	5.6	9.6	6.6	9.4	2.7	7.1	5.8
専用受信機	1.2	0.0	1.6	0.8	1.6	1.6	0.0	3.2	0.8	1.0	0.6	1.4	2.4	0.0
館内放送・職員など人の指示	4.1	2.4	4.8	3.2	8.8	2.4	4.8	5.6	0.8	6.6	4.1	3.4	5.4	0.0
防災無線	3.9	3.2	6.4	8.8	4.0	1.6	2.4	4.0	0.8	3.0	4.1	4.1	3.4	5.3
その他	2.0	0.8	4.0	2.4	2.4	0.0	0.8	0.0	5.6	1.5	0.0	2.7	3.1	2.1

「本当に強い揺れが来る」と思った人は約半数。近畿地方では過半数。

「緊急地震速報」を受け取ってどのように思ったか（％）
（全体の回答者数1000）

	全体	関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	男性	女性	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
本当に予想されるような強い揺れが来ると思った。	47.7	52.0	42.4	42.4	45.6	56.0	49.6	43.2	50.4	47.2	48.2	49.2	48.0	39.2	45.6	55.8
揺れが来ると思ったが、たいした揺れにはならないと思った	37.4	37.6	44.8	40.8	40.8	32.0	35.2	40.0	28.0	36.4	38.5	33.5	37.4	41.9	40.5	33.2
揺れは来ないと思った	9.7	3.2	9.6	13.6	8.8	7.2	11.2	7.2	16.8	10.9	8.5	9.6	9.4	12.8	9.2	8.4
誤報・間違いだと思った	5.2	7.2	3.2	3.2	4.8	4.8	4.0	9.6	4.8	5.5	4.9	7.6	5.3	6.1	4.8	2.6

**「緊急地震速報」を信用しなかった（軽視した）理由は
「震源が奈良県」が過半数**

**「緊急地震速報」を信用しなかった（軽視した）理由（％）
M.A. （全体の回答者数523）**

	全体	関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
回答数	523	60	72	72	68	55	63	71	62
結果的には強い揺れが記録されない緊急地震速報が、これまで何度も発表されていたから	20.7	36.7	29.2	18.1	23.5	25.5	11.1	12.7	9.7
緊急地震速報はあてにならないと思っていたから	9.6	13.3	9.7	12.5	2.9	9.1	7.9	8.5	12.9
「震源が奈良県」と聞いて、それほど大きな揺れにならないと思ったから	55.6	65.0	58.3	61.1	54.4	36.4	63.5	43.7	61.3
奈良県で大きな地震が起こるとは考えられず、怪しいと思ったから	5.2	1.7	2.8	4.2	8.8	3.6	7.9	5.6	6.5
高校野球大会の開かれている甲子園球場で、特に異常がなかったから（震源から遠くない甲子園球場で特に変わった様子がなかったから）	8.6	10.0	12.5	6.9	2.9	5.5	12.7	12.7	4.8
なんとなく	20.1	6.7	13.9	19.4	23.5	25.5	20.6	32.4	17.7
その他	5.0	5.0	5.6	2.8	2.9	10.9	1.6	5.6	6.5

「緊急地震速報」を聞いてとった対応で最も多いものは「情報収集」

「緊急地震速報」を受けての対応（％） M.A.
（全体の回答者数1000）

テレビやラジオで地震の情報を知ろうとした様子を見た	51.3
倒れてきそうなもの、落ちてきそうなものから離れた	34.9
危険な場所から離れた	8.7
安全な場所で身を守った	6.7
火の始末をした	6.6
頭や体を守る姿勢をとった	5.0
棚や備品など倒れてきそうなものをおさえたり、おさえようとした	3.9
戸や窓を開けた	1.6
家や建物の外に出た	2.7
家や建物の中に入った	1.3
業務等の立場や役割から、周りの人に地震が来ることを知らせた	1.7
自発的に周りの人に地震が来ることを知らせた	2.7
館内放送や職員などの指示に従った	5.6
小さい子どもや老人・病人など、自分の力で十分に身を守ることが難し	1.6
運転している車・バイクを止めた	2.8
運転している車・バイクのスピードを落とした	0.6
その他	2.1
何をしてよいのかわからず、何もできなかった	2.7
自分には関係ないと思い、何もしなかった	7.4
	14.0

「緊急地震速報」の「警報」の意味を知っていた人は約2割

「緊急地震速報」の「警報」の意味（％）
（全体の回答者数1000）

	全体	男性	女性	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
回答数	1000	506	494	197	171	148	294	190
知っていた	19.6	24.5	14.6	17.3	15.2	18.2	18.7	28.4
警報の対象地域は、震度に関係なく「揺れる地域」だと思っていた	33.4	32.2	34.6	29.9	33.9	35.1	36.1	31.1
知らなかった	47.0	43.3	50.8	52.8	50.9	46.6	45.2	40.5

**誤報であったことに対しては「仕方がない」が約4割
「緊急地震速報」が結果的に誤報であったこと
に対する評価（％）**

	全体	関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	男性	女性	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
回答数	1000	125	125	125	125	125	125	125	125	506	494	197	171	148	294	190
憤りを感じる	2.5	4.0	1.6	1.6	2.4	2.4	0.8	4.0	3.2	3.0	2.0	4.1	1.8	2.7	2.0	2.1
憤りを感じるほどではないが、大きな問題である	27.5	28.0	34.4	23.2	24.0	29.6	28.0	28.8	24.0	27.9	27.1	26.4	26.3	25.0	28.2	30.5
仕方がなかったと思う	39.7	40.8	41.6	36.8	44.8	43.2	29.6	39.2	41.6	37.7	41.7	36.0	42.7	40.5	38.4	42.1
特に問題ではないと思う	20.0	20.0	10.4	30.4	18.4	15.2	29.6	15.2	20.8	22.3	17.6	19.3	19.9	21.6	21.1	17.9
何も感じていない	4.5	3.2	3.2	4.8	4.0	3.2	4.8	8.0	4.8	4.7	4.3	7.1	4.7	5.4	3.7	2.1
わからない	2.2	0.8	3.2	0.0	3.2	1.6	1.6	4.0	3.2	2.2	2.2	5.6	2.3	2.0	1.0	0.5
その他	3.6	3.2	5.6	3.2	3.2	4.8	5.6	0.8	2.4	2.2	5.1	1.5	2.3	2.7	5.4	4.7

気象庁の対応 「誤報の発表が遅い」が37.8%

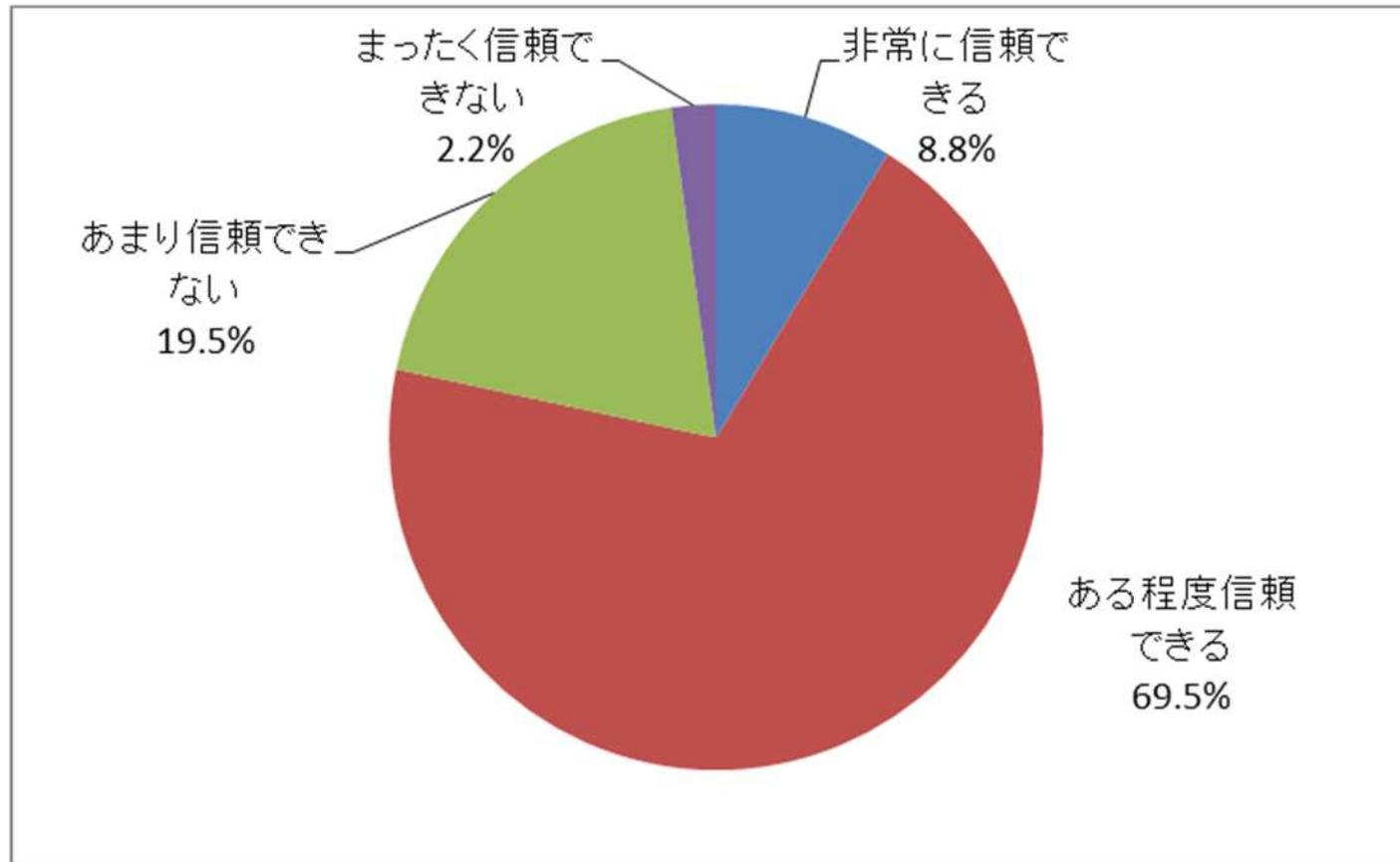
気象庁の対応に関する評価（%）M.A.

（全体の回答者数1000）

誤報であることを発表するのが遅かったように思う	37.6
誤報であることを発表するまでの時間については、特に問題はないと思う	32.8
誤報に関する説明が不十分だと思う	18.3
誤報に関する説明は十分だったと思う	10.6
誤報に関する謝罪が不十分だと思う	4.3
誤報に関する謝罪は十分だと思う	10.5
全体的にみて、気象庁の対応に大きな問題はないと思う	22.4
その他	1.8

「緊急地震速報」を「信頼できる」約7割

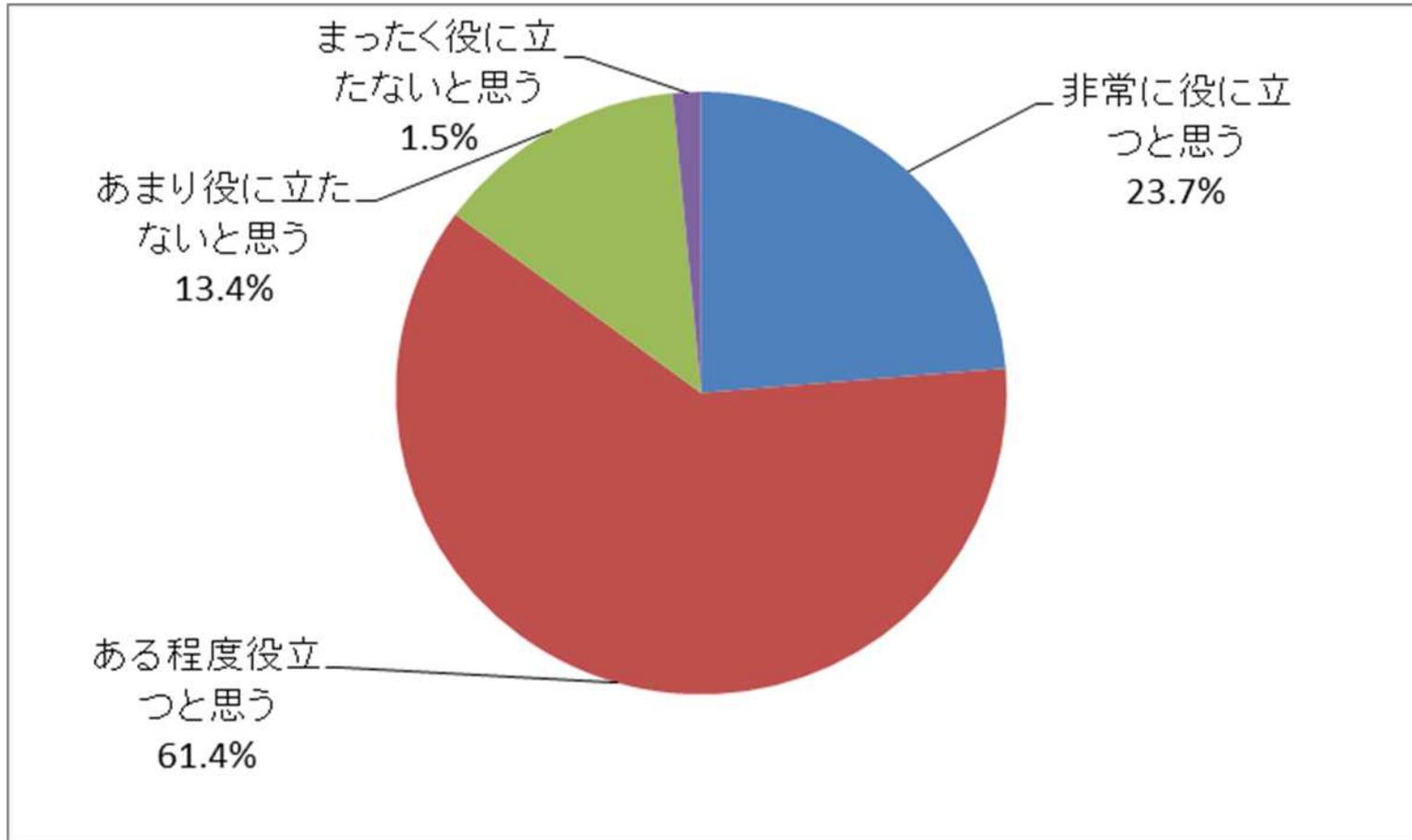
「緊急地震速報」の信頼度（％）
（全体の回答者数1000）



「緊急地震速報」が「役に立つ」8割以上

「緊急地震速報」の有効性（％）

（全体の回答者数1000）



「緊急地震速報」を「積極的に発表する」のが望ましい 全体で6割以上

「緊急地震速報」の発表のあり方（％）（全体の回答者数1000）

	全体	関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	男性	女性	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
結果的にはずれてもよいので積極的に「緊急地震速報」を発表した方がよいと思う	66.3	64.0	72.0	68.8	69.6	65.6	72.8	59.2	58.4	69.0	63.6	58.4	67.3	71.6	67.0	68.4
はずれるのは困るので、もっと慎重に「緊急地震速報」を発表してほしいと思う	25.5	28.8	21.6	24.0	22.4	28.0	20.8	26.4	32.0	22.9	28.1	29.4	26.3	20.9	24.5	25.8
わからない	7.5	6.4	5.6	7.2	8.0	5.6	5.6	12.8	8.8	7.1	7.9	12.2	6.4	6.8	7.1	4.7
その他	0.7	0.8	0.8	0.0	0.0	0.8	0.8	1.6	0.8	1.0	0.4	0.0	0.0	0.7	1.4	1.1